

チャフウォールの塗り方 ビニールクロスの上に塗布

素地ごしらえ(ビニールクロス面の素地ごしらえ)

汚れが特にひどい場合は洗剤で落とし、乾燥させる。

き裂がひどい場合は、日曜大工店でパテを購入し穴埋め、表面が平らになるまで調整し乾燥(通常 24 時間)させる。パテ乾燥後、研磨紙(#120 ~ 180) 表面を平らになるまで研磨する。き裂が小さい場合は、チャフウォールを固めに練ってヘラなどで埋め、乾燥させる。凹凸がひどい場合は研磨紙で研磨。研磨は、研磨紙を 20 ミリ角程度の木材に巻いて、平面部で研磨。

クロスが浮いている部分は日曜大工店で壁紙用接着剤を塗り、壁紙用ローラーで下地に接着させ、2, 3 日画鋏等で固定。

破けている部分がひどいときは、新しいクロスを張り替えるか、ビニールクロスの薄皮(下地と接着している紙)を残すようにゆっくり剥がして、その上に塗布する。

養生

近接する他の部材、面を汚損しないよう、シートがけ、マスキングテープかけ等、適切な養生を行う。

- ・マスキングテープ 24mm 幅程度
- ・15mm 幅のテープに 450mm, 1100mm 等のポリエチレンシート付き、天井部や壁下部に張るとたれても汚れない
- ・マスキングテープは先端を指で持ち、マスクする位置に合わせる。塗布する壁面にテープの側面をぴったり付けたまま、回転させながらテープを伸ばす。密着させるときはへらを押しつけながら移動させる。指で固定すると、トゲなど刺さって結構危険。

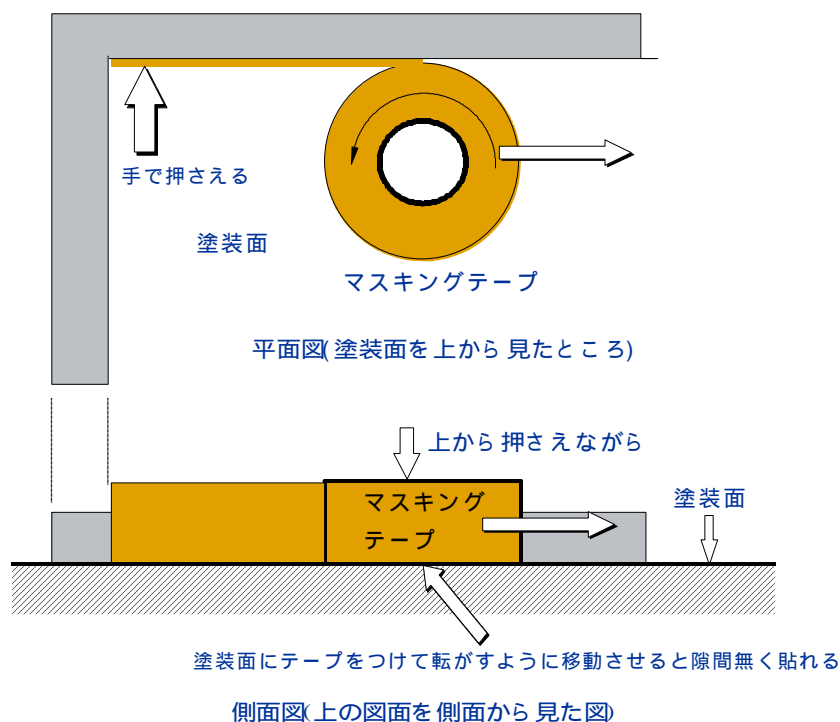


図1 マスキングテープの貼り方

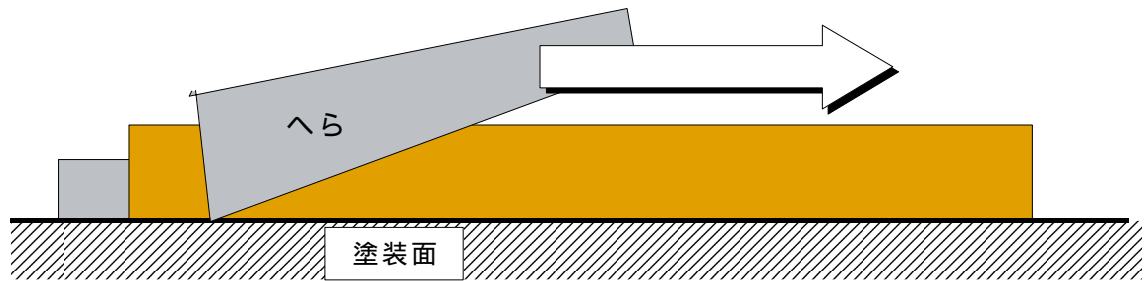


図2 プラスチックのへらでマスキングテープを固定

チャフウォールの準備

使用する前日に、ポリバケツなどに壁材を入れて水を加え、料理用へらで攪拌する。

- ・プラスチックの料理用へらで攪拌後、料理用のハンドミキサーなどで攪拌。
- ・水の量 100 ~ 110% 例：材料 1kg に水 1 ~ 1.1ℓ 程度が目安。 1kg で 5m² の目安
- ・水を加える時期は、前日がよいが、1 ~ 2 時間程度前でも可能であるが仕上がりに影響してくる。時間をおくのは、材料と接着剤をよくなじませるため。

十分寝かせた後、使用する時は、キッチン用の金網ざるを用いて、残っているダマをこす。これにナイロンストッキングを併用しても良い。

下塗り塗装 ローラー刷毛の場合

ローラー刷毛は幅 180mm 程度、スポンジ製が使いやすい、ローラー部の予備も日曜大工店で販売されている。最初は容器付きローラーセットが便利。十分寝かせた後のチャフウォールをポリバケツからローラー容器に移すときに、金網ざるに通すと、ダマが取り除かれる。水性塗料用 30 ~ 50mm 幅程度の刷毛で、ローラーが入らない角部をあらかじめ塗布しておく。仕上げ塗装の時も同様。

塗料適量ローラーに付け、台の上で転がし、ローラーにまんべんなく塗料が付着するようにする。塗料が垂れない程度がよい。

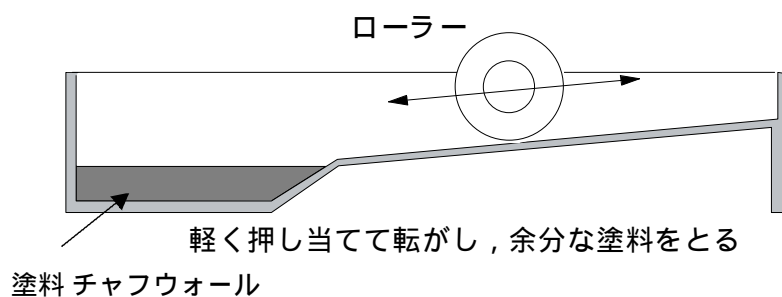


図3 ローラー刷毛に塗料をつける

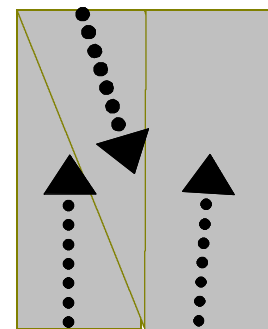


図4 ローラーの移動

塗料面に常にローラーが平行になるように上下に移動して塗布する。ローラーが常に回っていることが必要。塗りむらがあるところを修正する。チャフウォールは柔軟性のある塗料で、何回塗布しても塗りむらは出来にくい。

乾燥

下塗り後 6 ~ 12 時間（季節、温度、湿度等状況による）をかけ乾燥させる。温度が 5 度以下、湿度が 60% 以上の場合は原則として作業は行わないが、必要な場合は採暖、十分な換気を取り乾燥させる。

仕上げ塗装

下地塗り同様の手順で、丁寧に仕上げ塗装を行う。6 ~ 12 時間をかけ、乾燥させる。その後、慎重にマスキングテープを剥がす。

補修

塗装面が、汚れたときには、水に弱い塗料なので、洗剤などは使用せず、再びチャフウォールを塗って汚れを補修する。

その他

- ・塗料が付いてしまった場合は、布きれをお湯に浸し、絞って拭くと 1 週間以内であれば拭き取れる。道具の手入れもお湯か水でします。
- ・塗装後、1 週間程度は接着剤の酢酸セルロースの臭いがしますが、自然素材で無害ですので心配ありません。
- ・塗装中に塗料が乾燥して固めになるので適宜水を加えて薄める。
- ・残った塗料は、DIY 店で障子紙を買っておき、新聞紙の上で二度塗りする。適当な長さに切って、下駄箱、車の中、冷蔵庫などにおいて消臭に使える。

障子紙:28cm 幅、18.8m、200 円程度

チャフウォール塗装用具等

塗装用具	個数	備考
ローラー刷毛		幅180mm程度、スポンジ製が使いやすい、ローラー部の予備(傷が付きやすく使用不能になるため)
ポリバケツ	2	水と塗料攪拌用
攪拌器具		プラスチックの料理用へらと料理用のハンドミキサーなど
ダマ取り用網	1	キッチン用の金網ざる、これにストッキングを併用しても良い
マスキングテープ		24mm幅
		テープ15mm幅に450mm,1100mm等のポリエチレンシート付き、壁下部に張るとたれても汚れない
刷毛	1	水性塗料用50mm幅程度の刷毛、ローラーが入らないところに使用
パテ用へら	1	金属製かプラスチック製、穴埋めかマスキングテープを貼るとき使用、指で張ると木材のトゲが刺さり危険。へらで押しつけて張る。
脚立		
その他		ハサミ、ガムテープ、ウェス、新聞紙

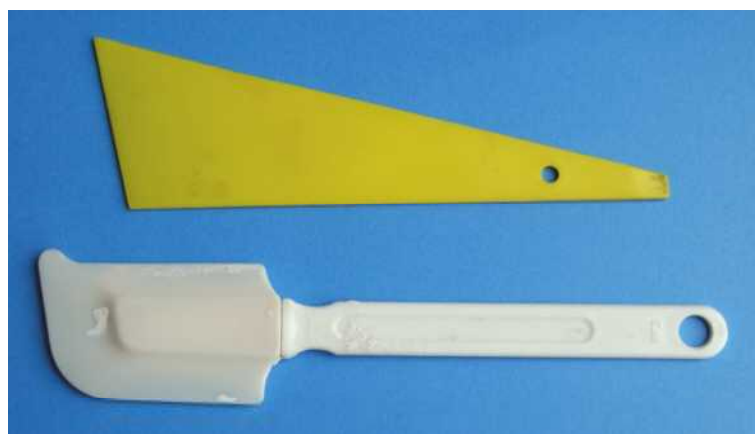


図5 プラスチックのへら クッキング用のソフトなへら

クッキング用のソフトなへらは、先端はソフトなプラスチックで、大まかな混合、容器に付いた壁材、角にたまった壁材を落とすのに便利



図6 クッキング用のハンドミキサー

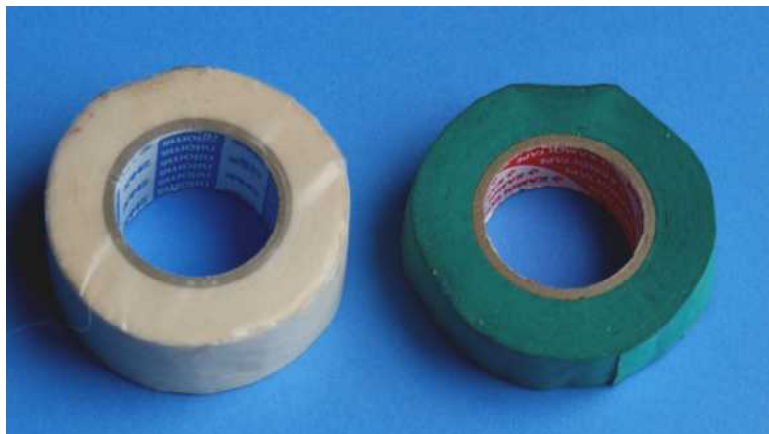


図7 25mm、 15mm 幅のマスキングテープ



(a) 15mm マスキングテープ付き処理シート (b)引き延ばすと 55cm 幅のシートが付属
図8 壁材のたれで塗布面以外の汚れを防ぐ薄いシート、110cm 幅のものもある。
床の上などに引き延ばす

基本事項

チャフウォールは、所定の配合割合に基づいた水を加えるだけで使用できる。原則として使用する量だけを、前日に水を加えてマゼラー等によく攪拌し、接着剤をよくなじませる。クッキング用のハンドミキサーでも良い。1 kg のチャフウォールで、1 度塗 で、5 ~ 10m² 程度の面積が塗布できるとして見当を付ける。

現場にて使用前に再度、良く攪拌して必要に応じて、こし分けを行う。また、現場での温度、湿度等により、材料の固さをみて、水の追加を調整する。

基本的に下塗りをして後、乾燥してから、仕上げ塗りを行う。材料は天然素材のため、乾燥には時間を有し、下塗り後、約半日から一日程度乾燥に時間が必要。塗り回数は、吹きつけは2回塗装、ローラーは2 ~ 3回塗装を行う。

また、材料には防腐剤等が入っていないため、調合後、3日以内に使用し、それ以後は接着効果が薄れるため、使用しない。

塗装時の温度が5度以下の場合は乾燥を早めるために採暖、換気を行う。また、湿度が60%以上の場合は原則として作業は行わない。

塗装面、その周辺、床などに飛散、損害を与えないように注意し、必要に応じて適切な養生を行う。また、材料が飛散した場合は乾燥する前にふきとる。